

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 まちづくり・交通課		担当課長名	脇尾 真次	
(※)第2期実施計画の事業名	市営住宅管理事業		財務会計上の事業名	市営住宅管理事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1051	1	財務会計上の短縮番号	5335	
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち			
	節	第5節住宅の充実			
	項目	項目1公的住宅の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ( )	<input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	市営住宅長寿命化計画に基づき、市営住宅を計画的に維持管理する。		
事業の対象 (誰を、何を)	市営住宅		
事業の手段・方法 (どのように)	既存市営住宅の維持・管理を実施。		
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)		
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度		
※根拠法とその条項	公営住宅法		

2 事業費等

区 分		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (予算)		H29/H28
事業費(千円)		141,026		141,700		145,443		148,698		102.6%
主な内訳	建物借上料	94,064		94,064		94,064		94,064		100.0%
	補助金	42,370		42,935		46,276		48,832		107.8%
	負担金	4,302		4,122		4,122		4,122		100.0%
人件費(人・千円)		0.33	1,288	0.32	1,228	0.56	3,371	0.54	2,626	175.0%
内訳	正職員	0.12	912	0.12	888	0.41	3,116	0.28	2,184	341.7%
	再任用短時間勤務職員	0.01	36		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.20	340	0.20	340	0.15	255	0.26	442	75.0%
支出合計 A		142,314		142,928		148,814		151,324		104.1%
財源	国・府支出金	16,339		16,415		18,322		18,689		111.6%
	地方債									-
	その他(住宅使用料他)	92,136		90,746		89,159		90,702		98.3%
	うち受益者負担 B	92,078		90,689		88,744		90,643		97.9%
	一般財源 C	33,815		35,767		41,333		41,933		115.6%
一般財源比率 C÷A		23.8%		25.0%		27.8%		27.7%		111.0%
受益者負担率 B÷A		64.7%		63.5%		59.6%		59.9%		94.0%
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済	<input type="checkbox"/> 2 一部導入済	<input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
上記の内容	入居者募集、住宅使用料の徴収や空家の修繕等の事務の簡略化が図られた。		
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能		
可能の場合:導入可能な業務			
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
上記の内容			
不可能の場合:選択の理由			

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	維持・修繕の実施	団地	7	7	7	7	7
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				住宅の維持管理を通じて良好な住環境の確保につとめている。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)			全7団地の適正な維持・管理を実施している。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	計画的な維持管理を行うため、現在の事業を継続する。	
現在抱える課題と対策	課 題	市営住宅使用料の滞納者への対応。
	対 策	明渡し請求等の法手続きなどの実施を検討。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	滞納者から、使用料の徴収を行い、滞納者数を削減しながら、今後も事業を実施していく。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 まちづくり・交通課		担当課長名	脇尾 真次	
(※)第2期実施計画の事業名	市営住宅長寿命化事業		財務会計上の事業名	市営住宅長寿命化事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1051	2	財務会計上の短縮番号	5344	
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち			
	節	第5節住宅の充実			
	項目	項目1公的住宅の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的(どのような結果を得るか)	市営住宅の長寿命化を図る。
事業の対象(誰を、何を)	市営住宅
事業の手段・方法(どのように)	市営住宅長寿命化計画の策定及び同計画に基づき、市営住宅の修繕・更新を実施する。
実施期間	<input type="checkbox"/> 新規(平成 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 時限(平成 24 年度～平成 34 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	公営住宅等長寿命化計画策定指針

2 事業費等

区 分		27 年度(決算)		28 年度(決算)		29 年度(決算)		30 年度(予算)		H29/H28
事業費(千円)		0		101,707		0		3,000		0.0%
主な内訳	委託料	0		98,579		0		3,000		0.0%
	工事請負費	0				0		0		-
人件費(人・千円)		0.18	1,033	0.18	1,009	0.21	1,596	0.54	2,626	116.7%
内訳	正職員	0.12	912	0.12	888	0.21	1,596	0.28	2,184	175.0%
	再任用短時間勤務職員	0.01	36	0.01	36		0		0	0.0%
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員	0.05	85	0.05	85		0	0.26	442	0.0%
支出合計 A		1,033		102,716		1,596		5,626		1.6%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	1,033		102,716		1,596		5,626		1.6%
一般財源比率 C÷A		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	供給戸数の見直しや耐震工事設計及び改善事業における計画・設計等において事務簡略化を図ることができた。
2又は3の場合:今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	☆	活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	古江住宅耐震改修工事	-	1	-	-	-
		活動 <input type="checkbox"/> 成果		-	-	-	-	-
		活動 <input type="checkbox"/> 成果						
		活動 <input type="checkbox"/> 成果						
		活動 <input type="checkbox"/> 成果						
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				長寿命化計画の事業は順次着手している。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)			耐震診断を実施し、改修や建替えが必要と判断された住宅に対して工事を行うことで耐震性を確保し、長寿命化を図っている。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	市営住宅長寿命化計画を改定する。	
現在抱える課題と対策	課 題	特になし。
	対 策	
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	耐震性不足の住宅についての新たな市営住宅長寿命化計画に基づき建替や改修工事を行い、住宅の安全性を確保する必要がある。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 まちづくり・交通課		担当課長名	脇尾 真次	
(※)第2期実施計画の事業名	市営住宅長寿命化事業		財務会計上の事業名	石橋住宅建設事業	
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1051	2	財務会計上の短縮番号	5346	
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち			
	節	第5節住宅の充実			
	項目	項目1公的住宅の充実			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ( )	<input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	都市計画公園整備、余剰地活用及び老朽化した石橋市営住宅の建替えを行い、入居者の居住を確保する。		
事業の対象 (誰を、何を)	市営住宅入居者		
事業の手段・方法 (どのように)	公募型プロポーザルにより事業者を選定し、事業を実施。		
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 新規(平成 28 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)		
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度		
※根拠法とその条項			

2 事業費等

区分		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (予算)		H29/H28
事業費(千円)		0		8,424		77,561		583,997		920.7%
主な内訳	委託料	0		8,424		66,834		10,206		793.4%
	使用料及び賃借料							2,400		-
	工事請負費					10,727		571,391		-
人件費(人・千円)		0.00	0	0.23	1,417	0.21	1,596	0.58	3,548	91.3%
内訳	正職員		0	0.18	1,332	0.21	1,596	0.42	3,276	116.7%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0	0.05	85		0	0.16	272	0.0%
支出合計 A		0		9,841		79,157		587,545		804.4%
財源	国・府支出金						28,834		31,122	-
	地方債									-
	その他( )									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C		0		9,841		50,323		556,423	511.4%
一般財源比率 C÷A					100.0%		63.6%		94.7%	63.6%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済	<input type="checkbox"/> 2 一部導入済	<input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減	<input type="checkbox"/> サービス向上	<input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	事業者選定のためのスケジュール、募集要項の作成を委託することにより、事務の簡略化を図ることができた。		
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能	<input type="checkbox"/> 不可能	
可能の場合:導入可能な業務			
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減	<input type="checkbox"/> サービス向上	<input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容			
不可能の場合:選択の理由			

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	事業者選定委員会開催	回	-	3	-	-	-
	☆ <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	事業者選定	社	-	1	-	-	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				当初の計画通りに事業者が決定されたため。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)				
	事業は効率的に実施できているか			<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)				
	(指標値や事業費の推移についても言及して記入)			事務処理が軽減され事業者が決定できたため。				

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施	平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容			
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充	<input type="checkbox"/> 2 現状維持	<input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	住民移転、既存解体に取り組む。		
現在抱える課題と対策	課題	地域住民との調整	
	対策	説明会を開催し理解を得る。	
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針			
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他		
選択の理由	計画通りに本体工事を遂行する。		

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 審査指導課		担当課長名	南 潤 修
(※)第2期実施計画の事業名	既存民間建築物アスベスト対策補助事業		財務会計上の事業名	既存民間建築物アスベスト対策補助事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号	1052	2	財務会計上の短縮番号	4663
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち		
	節	第5節住宅の充実		
	項目	項目2民間住宅の充実		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	既存民間建築物のアスベストによる健康被害を予防する。
事業の対象 (誰を、何を)	建築物の所有者
事業の手段・方法 (どのように)	建築物の所有者が行うアスベスト対策に対して補助金を交付。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 18 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	建築基準法第28条の2、池田市既存民間建築物アスベスト対策事業補助金交付要綱

2 事業費等

区 分	27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (予算)		H29/H28	
事業費(千円)	55		0		145		1,250		-	
主な内訳	既存民間建築物アスベスト対策補助事業		55		0		145		-	
									-	
人件費(人・千円)	0.22	1,672	0.22	1,628	0.14	1,064	0.12	936	63.6%	
内訳	正職員	0.22	1,672	0.22	1,628	0.14	1,064	0.12	936	63.6%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
臨時的任用職員		0		0		0		0	-	
支出合計 A	1,727		1,628		1,209		2,186		74.3%	
財源	国・府支出金	55		0		145		750		-
	地方債									-
	その他( )									-
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C	1,672		1,628		1,064		1,436		65.4%	
一般財源比率 C÷A	96.8%		100.0%		88.0%		65.7%		88.0%	
受益者負担率 B÷A									-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	国からの補助事業であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	アスベスト対策啓発活動	回	1	1	1	1	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	アスベスト含有調査補助金交付件数	件	1	0	1	1	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	アスベスト対策工事補助金交付件数	件	0	0	0	1	-
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		本市において、アスベストによる健康被害の発生がない。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	対象建築物を所有する申請者からの申請を受けて行う事業であり、調査や対策工事を行うかどうかは申請者の都合による受動的な事業となるため、過去3年での補助件数は27年度、29年度の2件のみである。啓発活動も行っており、有効かつ効率的であると思われる。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	補助金額、対象物件等の内容変更なし。	
現在抱える課題と対策	課 題	国の補助制度は、含有調査、除去工事が32年度末でそれぞれ廃止される予定である。(延長可能性あり)
	対 策	国の補助制度が廃止された場合は、事業の必要性について検討が必要である。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	アスベストを使用した建築物はまだ現存しており、又、国から新たに、石綿含有仕上げ材の排去等作業における石綿飛散防止対策が通知されている中で、今後の国の補助制度についての動向を探りながら、取組方針を検討する。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 まちづくり・交通課	担当課長名	脇尾 真次
(※)第2期実施計画の事業名		財務会計上の事業名	空き家対策推進事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号		財務会計上の短縮番号	4671
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち	
	節	第5節住宅の充実	
	項目	項目3良好で安全・安心な住宅の供給	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	周囲に悪影響を与えている空き家の減少、増加の防止
事業の対象 (誰を、何を)	空き家所有者、市民
事業の手段・方法 (どのように)	空き家の適切な管理と利活用を促進するため、現地調査、指導業務、啓発活動等を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 28 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	空家等対策の推進に関する特別措置法

2 事業費等

区 分		27 年度 (決算)		28 年度 (決算)		29 年度 (決算)		30 年度 (予算)		H29/H28
事業費(千円)				135		0		2,596		0.0%
主な内訳	印刷本費			50		0		2,596		0.0%
	郵便料			85		0		0		0.0%
	会場借上料			0		0		0		-
人件費(人・千円)		0.00	0	0.00	0	0.06	456	0.24	1,872	-
内訳	正職員	0		0		0.06		456		-
	再任用短時間勤務職員	0		0		0		0		-
	任期付職員(フルタイム)	0		0		0		0		-
	任期付職員(短時間勤務)	0		0		0		0		-
	非常勤職員	0		0		0		0		-
	臨時的任用職員	0		0		0		0		-
支出合計 A		0		135		456		4,468		337.8%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	0		135		456		4,468		337.8%
一般財源比率 C÷A				100.0%		100.0%		100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	セミナー講師、相談員派遣
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	効率的、効果的な啓発活動のためには専門的な知識が必要。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指 標 値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	セミナー、相談会の開催	回	-	1	3	2	2
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input checked="" type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由				専門団体の協力を得ながらセミナーの開催が初年度より実施出来た。				
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	より効果的な啓発活動を行っていくためには一部業務のアウトソーシングも必要。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	昨年度同様、専門団体の協力を得ながらセミナーを開催していく。	
現在抱える課題と対策	課 題	セミナー開催等の広報活動
	対 策	地域に協力を求めるほか、一部アウトソーシングの検討。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	市広報誌やホームページへの掲載だけでは効果が少なく、より効果的なPR方法を検討するとともに、セミナー講師、相談員についてもボランティアの範囲で協力してもらっているところであり、アウトソーシングの導入も必要。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 まちづくり・交通課	担当課長名	脇尾 真次
(※)第2期実施計画の事業名		財務会計上の事業名	空き家再生等推進補助事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号		財務会計上の短縮番号	4672
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち	
	節	第5節住宅の充実	
	項目	項目3良好で安全・安心な住宅の供給	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	空き家等を有効に活用し、地域の活性化に繋げる。
事業の対象 (誰を、何を)	空き家の所有者等
事業の手段・方法 (どのように)	空き家の跡地を地域活性化等に活用する所有者に対して補助金を交付する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 28 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度 ～ 平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市空家等跡地活用事業補助金交付要綱

2 事業費等

区分		27年度 (決算)		28年度 (決算)		29年度 (決算)		30年度 (予算)		H29/H28
事業費(千円)						0		1,000		-
主な内訳	補助金					0		1,000		-
										-
人件費(人・千円)		0.00	0	0.00	0	0.02	152	0.09	663	-
内訳	正職員		0		0	0.02	152	0.08	624	-
	再任用短時間勤務職員		0		0		0	0.01	39	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	臨時的任用職員		0		0		0		0	-
支出合計 A		0		0		152		1,663		-
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他( )									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	0	0		0	152		1,663	-	
一般財源比率 C÷A						100.0%		100.0%		-
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度)		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	本事業は市の補助金交付に関するものであり、市職員が行うべき業務であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H30)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	補助件数(累積)	件	-	-	0	1	1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況				<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない				
選択の理由								
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	現在は空き家の跡地活用のみが対象となっているため、空き家活用についても補助対象としていく。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)		<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)		<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容		昨年度より開始した事業であり、事業を継続。
現在抱える課題と対策	課題	空き家所有者と利用者とのマッチングを支援する仕組みが必要。
	対策	空家バンク制度の創設等
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	空き家等の利活用を促すため、補助対象については跡地活用だけでなく、空き家そのものの活用も対象としていく。また、空家バンク制度の創設等、所有者と利用者のマッチングを支援する仕組みが必要。	

事務事業評価シート(平成29年度実施事務事業)

担当部署名	都市建設部 まちづくり・交通課	担当課長名	脇尾 真次
(※)第2期実施計画の事業名		財務会計上の事業名	親元近距離居住応援事業
(※)第2期実施計画の分類番号/事業番号		財務会計上の短縮番号	4673
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち	
	節	第5節住宅の充実	
	項目	項目3良好で安全・安心な住宅の供給	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プランII」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ( ) <input type="checkbox"/> 企業会計 ( )
事業の目的 (どのような結果を得るか)	子育て世帯や高齢者見守り、介護支援等の共助を推進し、若年世帯の流入及び定住化の促進を図る。
事業の対象 (誰を、何を)	本市に転入して親世帯と同居する子世帯
事業の手段・方法 (どのように)	マイホームを新たに取得する際の費用の一部に対して補助金を交付。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 29 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市親元近距離居住応援補助金交付要綱

2 事業費等

区分	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (予算)	H29/H28	
事業費(千円)			1,777	3,000	-	
主な内訳	補助金		1,777	3,000	-	
					-	
人件費(人・千円)	0.00	0	0.31	2,356	0.14	
内訳	正職員	0	0	0.31	2,356	0.14
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
	臨時的任用職員	0	0	0	0	-
支出合計 A	0	0	4,133	4,092	-	
財源	国・府支出金				-	
	地方債				-	
	その他( )				-	
	うち受益者負担 B				-	
	一般財源 C			4,133	4,092	-
一般財源比率 C÷A			100.0%	100.0%	-	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済(平成 年度) <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
2又は3の場合: 今後の直営部分のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ( )
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	本事業は市の補助金交付に関するものであり、市職員が行うべき業務であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (予定)	目標値 (H30)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	補助件数	件			9	15	15
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 順調に推移している <input type="checkbox"/> B 順調に推移していない <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	平成29年度からの新規事業であるため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由 (指標値や事業費の推移についても言及して記入)	市民のニーズを受け、補助要件及び補助件数について検討する余地がある。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成25年度～平成29年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成30年度の取組(平成29年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	一定の成果を得られており、平成30年度は補助件数の増(予算の増)を行う。	
現在抱える課題と対策	課題	個々で異なるマイホーム取得の多様なケースへの対応。
	対策	今後の事例を踏まえて検討。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成31年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	一定の効果を得られており、人口減少の社会情勢の中、若年世帯の流入にも寄与するため実績によっては補助件数の増など、拡充を検討していく。	